

中心市街地グランドデザイン戦略会議のまとめ

1. まちづくりの方向性

これまでの中心市街地グランドデザイン戦略会議の意見をふまえ、目指す中心市街地の姿を3つのまちづくりの方向性として示します。

資料 5

観点	定住	空間	資源	来街者	情報	商業	ヒト	まちづくりの方向性
目指す姿	◇居住者がまちなかに出てくるとイイね	◆ <u>雰囲気のあるシンボルロードにして心象距離が短くなるとイイね</u> ◆ <u>歩道にベンチなどを設置して、飲食や休憩ができるとイイね</u> ◆ <u>シンボルロードだけでなく細い道でも何か展開ができるとイイね</u>	◆ <u>駅前から小牧山にかけて歴史・文化を活用した魅力創りができるとイイね</u> ◇シンボルロード沿いの新旧の資源をつないだ展開ができるとイイね	◇目的（地）から次につながる周遊できる仕組みができるとイイね	◇サインを活用し来街者に土地の由緒や歴史が伝わるまちになるとイイね	◇一定の商業集積から回遊性のあるまちになるとイイね ◆ <u>気軽に止められる駐車場があるとイイね</u>	◆ <u>市内外の方が楽しめるイベント（マルシェ、街歩き等）が開催できるとイイね</u>	まちづくりの方向性
	《取組みヒント》 ○居住者に利便性の高いサービスの提供	《取組みヒント》 ○新図書館、こまきこども未来館の整備 ○駅西広場再整備 ○シンボルロードから小牧山にかけて雰囲気のある景観づくり	《取組みヒント》 ○信長など歴史を活用した誘客 ○近隣店舗や資源への誘導	《取組みヒント》 ○近隣店舗や地域資源への誘導 ○滞在時間の創出	《取組みヒント》 ○サイン戦略	《取組みヒント》 ○一定の商業集積（回遊性）	《取組みヒント》 ○多世代が楽しめるイベント ○多世代型拠点の整備	
住みたいまち	◇子育てしやすく生活に便利なサービスがあるとイイね ◆ <u>高度利用につながる再開発しやすい仕組みがあるとイイね</u>	◇歩きやすく楽しいまちなかだとイイね ◆ <u>公園や芝生広場のある自由空間ができるとイイね</u> ◆ <u>良好な街並みや小牧山の見える景観が継続されるとイイね</u>	◇空き家・空き店舗の悩みを解決する仕組みができるとイイね	◇公共交通の利便性が向上するとイイね	◇トレンドをとらえた情報発信ができるとイイね	◇飲食店の選択肢が増えたとイイね ◆ <u>生活に便利な店舗が集積できるとイイね</u>	◇みんな一緒に住みやすいまちづくりができるとイイね	住みたいまち
	《取組みヒント》 ○マンション等の建設 ○居住者に利便性の高いサービスの提供 ○交通結節機能の充実	《取組みヒント》 ○駅前の芝生広場の整備 ○公園（みどり）の整備 ○多世代型拠点の整備	《取組みヒント》 ○空き家・空き店舗対策（低未利用土地権利設定等促進計画の活用）	《取組みヒント》 ○交通結節機能の充実 ○居住区域と生活区域の一致	《取組みヒント》 ○SNSの有効活用	《取組みヒント》 ○一定の商業集積（選択肢の充実）	《取組みヒント》 ○官民連携による景観形成 ○協働の体制づくり ○仕掛人の育成	
活力があるまち	◇負担のない範囲で地域と交流が生まれるとイイね	◇協働して誘致イベントができるとイイね	◇駅前からシンボルロード沿いの出店のマッチングができるとイイね	◇イベントによる集客からまちの店舗へと好循環が生まれるとイイね	◇包括的な情報発信ができるとイイね	◆ <u>飲食店などが気軽に出店できる仕組みがあるとイイね</u> ◆ <u>出店希望者と旧商店経営者をつなぐ仕組みがあるとイイね</u> ◆ <u>空き店舗のリノベーションがしやすくなる仕組みがあるとイイね</u>	◇やる気のあるヒトが連携し協力体制が構築できるとイイね	活力があるまち
	《取組みヒント》 ○転入者と地域住民の交流の場	《取組みヒント》 ○近隣店舗や地域資源への誘導	《取組みヒント》 ○（歴史的）資源のネットワーク化 ○空き家・空き店舗対策	《取組みヒント》 ○市民主体によるイベント開催 ○近隣店舗や地域資源への誘導 ○交通結節機能の充実	《取組みヒント》 ○SNSの有効活用 ○タウン情報誌の発行	《取組みヒント》 ○店舗賃貸借のマッチング体制の構築 ○起業のための環境整備	《取組みヒント》 ○温度差の解消（この指とまれ方式）	

訪れたいまち

訪れたいまち

・まちの魅力があふれ、居心地が良く、歩いて楽しいまちなかを目指す

住みたいまち

住みたいまち

・都市機能や生活利便性の高い施設が集積し、快適に暮らせるまちなかを目指す

活力があるまち

活力があるまち

・空き店舗のリノベーションや起業応援など、活性化を担うヒトがチャレンジしやすい取り組みを進め、官民連携による飲食・物販・サービスなどの集積と持続可能なまちなかを目指す

2. まちづくりの施策

「1. まちづくりの方向性」をふまえ、それぞれの方向性及びゾーン特性による施策を以下に示します。

(1) まちづくりの方向性における施策

方向性（1）訪れたいまち

まちの魅力があふれ、居心地が良く、歩いて楽しいまちなかを目指す

🚶🏻できるといいこと

- ①歩道にベンチなどを設置して、飲食や休憩できる空間が整備できるといいね
- ②シンボルロードから路地へ散策できる寄り道スポットが増えるといいね
- ③気軽に止められる駐車場があるといいね
- ④市内外の方が楽しめるイベント（マルシェ、街歩き等）が開催できるといいね
- ⑤歴史文化などの魅力が発見しやすく小牧山から小牧駅前まで心象距離の短い散策ができるといいね

方向性（2）住みたいまち

都市機能や生活利便性の高い施設が集積し、快適に暮らせるまちなかを目指す

🚶🏻できるといいこと

- ⑥高度利用につながる再開発やマンション建設しやすい仕組みができるといいね
- ⑦公園や芝生広場等が充実し、心地よく街歩きができるといいね
- ⑧生活に便利な店舗が集積できるといいね
- ⑨良好な街並みや小牧山の見える景観が継続されるといいね

方向性（3）活力があるまち

空き店舗のリノベーションや起業応援など、活性化を担うヒトがチャレンジしやすい取り組みを進め、官民連携による飲食・物販・サービスなどの集積と持続可能なまちなかを目指す

🚶🏻できるといいこと

- ⑩飲食店が駅前に気軽に出店できるといいね
- ⑪家主と借主とのマッチングが円滑にできる仕組みがあるといいね
- ⑫空き店舗のリノベーションや出店がしやすくなる仕組みがあるといいね

(2) ゾーン特性による施策

- 都市機能集積ゾーン・・・🚶🏻できるといいこと ①、②、③、④、⑥、⑦、⑧、⑩、⑪、⑫
駅前にふさわしい商業機能と多世代交流機能が充実するゾーン
中高層大型建築物のある都会的な景観ゾーン
- 歴史・文化ゾーン・・・🚶🏻できるといいこと ①、②、③、④、⑤、⑦、⑨
散策しやすく新たな発見のあるさまざまな機能が点在するゾーン
社寺のある歴史を感じられる落ち着いた景観ゾーン

